

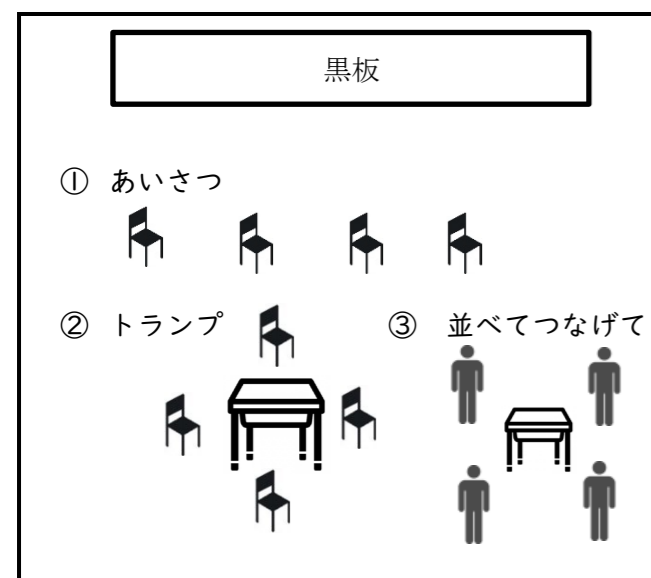
授業づくりシート

領域名 自立活動

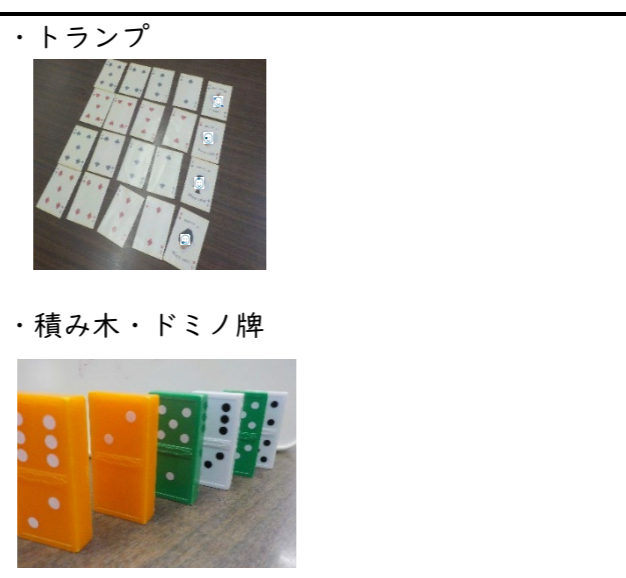
6 学年

テーマ	ともだちに花をもたせよう	
事例児の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し行われる言語指示に対して、行動に移すことができる。(コミュニケーション) ・話す内容と事象との整合性がとれるようになってきた。(環境の把握) ・質問に対して、本人が伝えたいことを話す傾向があり、内容がかみ合わないことがある。(コミュニケーション) ・自分が一番になりたいという思いが強い。(心理的な安定) ・「したいこと」が優先され、できないと感情的になる時がある。(心理的な安定) ・おもちゃ(ブロック等)、遊んでいるものを独り占めし、共有して遊ぶことが難しい。(コミュニケーション) 	
事例児の個別目標	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの気持ちを受け入れ、友達と一緒に活動することができる。(コミュニケーション) ・勝敗を受け入れて、ルールに沿って活動することができる。(コミュニケーション) 	
活動内容と具体的な手立て		
活動内容	ねらい	具体的な手立て
トランプゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・勝ち負けを受け入れることができる。 ・順番を守るすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を言語化して伝える。
並べてつないで	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と共同活動をすることができる。 ・友達と同じものを共有して取り組むことができる。 ・自分だけが長く使わないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に活動をする。 ・言葉をかけ、周りを見て比較して確認できるようにする。

○場の配置



○教材教具等



○展開

時配	活動内容	教師の支援等
9:50	○はじめの挨拶をする。 ・当番の人が挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢が正しくできるように言葉かけを擬音でわかりやすく行なう。 ・当番の人に挨拶をするように促す。 ・本時の流れを確認する。
9:51	○カードゲームの確認や机を移動させ、場を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで机を合わせる。
9:53	○カードゲーム(七並べ)を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・5までの数で行う。慣れてきたら大きい数で行う。 ・「3(○)の◆」を持っていた人から「時計回り」で始める。 ・並べているところに意識を持たせるため、前の友達がどの札を出したのか質問し確認する。 ・児童の手札を見て、出せるカードを指さして促す。
10:58	○「並べてつないで」を行う。 ・ドミノを倒す人をくじで決める。 ・どのくらい並べられたか、数える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで長く並べる」ことを確認する。 ・均等に牌を渡す。手持ちの牌が無くなった場合、共有BOXから持って行っていいことを伝える。 ・並べられそうなところを指さして伝える。 ・失敗しても気にしないことを、その都度伝える。
10:06	○振り返りをする。 ・何個つなげられたか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・数える際は、メモリがついた箱に牌を重ねて入れることで、簡単に数えられる補助具を用いる。 ・並べたドミノがどれくらいの長さになったのか記録する。
10:08	○片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで片付けをするように言葉かけを行う。
10:10	○終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の流れを確認する。 ・姿勢が正しくできるように言葉かけを擬音でわかりやすく行なう。

○成果と課題

○カードゲームでは、相手が出したカードをその都度確認しながら自分が出せるカードを探すことで、友達の行動を意識して活動することができた。

○ドミノ活動では、並べる際に言葉かけを行うことで、長い距離を作ることができた。また、倒してしまった場合には、謝ることの意識付けにつながった。

△相手を意識できるようにゲームを取り入れたが、対人関係のゲームを入れてもよかった。